



清掃・美化活動が様々に！

冬を前にして、底喰川周辺を中心とする清掃美化活動が様々に行われました。

※藤島中学校生徒によるボランティア活動（11月9日〔水〕）

午後2時～3時に行われました。参加人数は86人（生徒66人、先生6人、スタッフ14人）でした。4グループに分かれ、そのうち3グループは、高水敷に刈り倒してあったミソハギの枯れ枝を束ねてそれぞれ近くの石段下に集める作業（写真左）を、1グループは公務員宿舎南側道路の花壇に葉ボタンとチューリップの球根植え（写真中）を行いました。事前の刈り倒し作業や当日の生徒さんたちへの指導をしてくださったまちづくり日新実行委員会環境部会の皆様ご苦労様でした。（写真右は、作業終わりの集まり）



※地区一斉清掃（11月13日〔日〕）

午前9時30分～11時に行われました。参加者は71名でした。主催団体の日新地区自治会連合会会長橋本鉄弥氏のあいさつの後、「遊歩道植え込みの除草」、「花壇（左岸、乾徳2丁目）の手入れ」、「旧公民館外回りの除草」、「レンガの歩道への植え込み」、「ゴミ拾い」に分かれて取り組みました。この事業は「地区親子一斉清掃」でもあり、親子での参加も多数ありました。

★次回は、令和5年3月12日（日）



※定例清掃（11月27日〔日〕）

午前8時～9時に行われました。参加者は16名でした。「ゴミ拾い」、「護岸のカズラのカット」、「乾徳1号橋左植込みにピオラ、葉ボタン植え」、「西福井乾徳橋植込みの花植え」等を行いました。今年最後の清掃でした。前記事の、藤中生によるボランティア活動、一斉清掃が天候に恵まれ予定通り実施できていたことによりすっかりきれいになりました。

★次回は、令和5年3月26日（日）

（参加者の固定化、高齢化により清掃箇所を縮小せざるを得ない状況です。ほおっておけば汚くなってしまいう底喰川の環境を守るため多くの皆様のご参加をお待ちしています。）



小3のさまざまな質問に答えながら！

まち歩き探検ガイド（いきいきライフセミナー）

11月18日（金）午前9時20分より、いきいきライフセミナーのメンバーが、日新小学校3年生の地域学習のお手伝いとしてまち歩き探検のガイド役を務めました。参加者は50名（児童38、先生4、スタッフ8）で、「宮島・堀の宮コース」と「乾徳・文里コース」の二手に分かれ約2時間にわたって行いました。今年は、例年の説明に加えて、事前に子どもたちから出された質問に答えながらの案内となりました。実際に現場を見ながらの学習であり、また自分の出した質問についての回答もあり、子どもたちは大変興味深そうに説明を聞いてくれました。来年2月頃に行われる学習発表会には、いきいきのメンバーも参観予定です。



【川田公園で水準点を学習】

【帰命寺にて】

【児童の質問例①「水準点はなぜ作られたのですか」⇒説明例「川や道路や下水道など正確な高さの値が必要な工事で測量の基準が必要だから」②「帰命寺の名前の由来は？」⇒説明例「命は、教え、この場合は阿弥陀仏の教え、帰は、敬い信じて何よりも大切にしますで、合わせて阿弥陀仏を敬い信じて従うとの意味」（※説明例について、ご意見やご提案がありましたら公民館までご連絡いただくとありがたいです）

公民館除雪のご理解とご協力をお願い

日新公民館館長 廣瀬行雄

今年度の冬は降雪が多いとの予報が出されております。大雪の場合以下の点にご協力をお願いいたします。

- 1 不要不急のご利用はお控えください（貸館を取りやめる場合は必ず公民館へご連絡を）
- 2 車でのご来館はお控えください。（車でご来館を希望される場合は、事前に駐車場の除雪状況をお問い合わせを）

※福井市の公民館は、地域の皆様、利用者の皆様のご協力によって支えていただく仕組みとなっております（例：使用部屋の掃除は利用者が実施）。除雪につきましても職員で最大限の努力はいたしますが、除雪中や未実施の箇所がありましたらご来館の折にはご支援いただくと大変ありがたく存じます。

日新の人口推移（令和4年11月1日現在）

男 2,767人(+8) 世帯数 2,611(+3)
 女 2,760人(-4) 高齢化率 27.85%
 計 5,527人(+4) 後期高齢化率 14.73%

日新地区犯罪発生状況

福井警察署令和4年10月末統計（今年の累計）
 ・空き巣…0件 ・車上狙い…2件
 ・自転車盗…12件 ・オートバイ盗…0件
 ・その他窃盗関係…10件 ・器物損壊…4件
 ・その他刑法犯関係…4件 ●地区内合計…32

令和4・5年度日新地区のテーマ “みんなで築こう 活気ある日新”

公民館だよりは、〇月号をその前月に発行してまいりました。（例：12月号は11月に発行）しかし分りにくい、内容が合わない等のご意見もあり、今後は発行月と発行号を同じにさせていただきます。（例：1月発行分を1月号）12月号は11月に発行済みなので、本号は「12月号の2」としました。

日	曜日	祝日及び 休館日	令和5年1月の主な活動予定			
1	日	休館日				
2	月	休館日				
3	火	休館日				
4	水	休館日				
5	木					
6	金					
7	土					
8	日	休館日				
9	月	休館日				
10	火	休館日				
11	水					
12	木		10:00	~	12:00	いきいきライフセミナー（通年事業） さんさん映画会（まちづくり交通部会）
13	金		10:00	~	12:00	さんさん映画会（まちづくり交通部会）
14	土		13:30	~	16:00	パソコン相談会
15	日	休館日				
16	月	休館日				
17	火					
18	水		10:00	~	11:30	ニッキーズ
19	木		10:00	~	10:30	本に親しむ集い（同時開催）
20	金		10時20分	開演		健友会新年会（法話 大安禅寺高橋玄峰氏）
21	土		13:00	~	14:45	伝承遊びにふれてみよう（子どもの広場）
22	日					
23	月	休館日				
24	火					
25	水					
26	木		10:00	~	12:00	さんさん映画会（まちづくり交通部会）
27	金					
28	土		13:30	~	16:00	パソコン相談会
29	日					
30	月	休館日				
31	火					

※コロナの感染状況により変更になる場合があります。
 この他に 日新ボラネットの活動として以下のものがあります。
 ・地区各種事業記録写真・・・松井良忠氏
 ・児童館のおはなし会、読み聞かせ
 （毎月1回 基本水曜の午後4時から）
 ・底喰川高水敷清掃・・・まちづくり日新実行委員有志
 ※パネル写真（館内掲示）の提供・・・田中和昭氏（ハツ島町）

【日新デイホームの案内】（社会福祉協議会）
 ハツ島会館 1月18日（水）9:30より受付開始
 日新公民館 1月18日（水）13:00より受付開始
 乾徳ふれあい会館 1月25日（水）13:00より受付開始
 ひまわり児童館（未定）

日新公民館のLINEのQRコードです。
 いろんな情報を発信してまいります。
 ご登録お願いいたします。



ニッキーズの活動のご報告

未就園児親子対象の教育事業です。

※第5回（9月21日午前10時半より）講演

「スマートフォンが子育てや子どもに及ぼす影響について」講師 道坂由美子氏・宮田志保乃氏（家庭教育アドバイザー）。参加者6名。の



ぶみ作の絵本「ママのスマホになりたい」を読んで、「最近増えている授乳中の母親が片手にスマホ」の弊害や、子どもにスマホを使わせないよりいかに正しく使わせるかが大切等のお話がありました。【参加者の感想：スマホの使い過ぎは、脳疲労、身体疲労、視力低下、精神面への支障、高齢者の認知症等の危険があると知りました。若いお母さんたちだけでなくほかの人たちにも聞いていただくといいと思いました。】

※第6回（11月16日午前10時半より）ママヨガ 講師 kiriko氏。参加者18名（親子6組、スタッフ5名）。

「あぐらをかいて背筋を伸ばす」⇒「手を伸ばしグーパー、手首回し」⇒「首回し（息を吐きながら下へ、吸いながら上へ）」⇒グーで鎖骨をぐりぐりしてほぐす・・・等を行いました。



【参加者の感想：始める前は肩こりも腰の痛みもあったがヨガをした後は楽になりました。子どもは初めは落ち着かなかったが音楽もあり最後はリラックスできていました。】

便利でかわいいラップが！

～蜜蝋（みつろう）ラップのワークショップ～

ぱれっとサークル（家庭教育事業）

10月29日（土）午前10時より、大沼照枝氏（大沼養蜂園）を講師に行われました。参加者は13名でした。ミツバチの巣から取り出したロウで作るラップで、繰り返し洗って使える環境にやさしいラップです。



【写真説明 左：写真を使った分かりやすい説明 中：ロウは50℃以上で溶けるので、アイロン（中温）を使ってロウを溶かして広げて布に定着させる 右：かわいい完成作品】
 ※このラップで品物を手で包み込むと、手の温かさでロウが柔らかくなり、形に合わせてラッピングできます。

大人への階段を一步

藤島中学校生徒が公民館で職場体験

10月26日（水）、27日（木）の2日間、2年生6名が日新公民館に職場体験で訪れました。



【写真 左「来館者へ明るく挨拶」、中「自治会への配布物の枚数かぞえ、間違えないように慎重に」、右「月予定表に貸館状況を記入」】

【生徒さんの感想】僕はこの職場体験を通して色々な力が身についたり、日新地区についていろいろなことが分かったと思います。公民館のスケジュールの書き換えの仕事では、毎日違うイベント・ゲームがありますが、そのすべては老若男女が楽しめる無理がないイベント・ゲームであり、今まで思っていたのとはまた違うものでした。また椅子と机の点検では、1つ1つがとてもいい状態で、こわれているものは1つしかありませんでした。なので普段の利用者や主事さんなどのいつもの使い方がとても丁寧ということが伝わってきました。僕が見た公民館の利用者はご老体とは思えないほど元気で、子どもみたいにいきいきと楽しんでいました。職場体験を通して今までの公民館のイメージとは違うものだと分かりました。またプリントを分ける作業で1枚でも枚数が違ったらだめだという仕事の厳しさが分かりました。職場体験なので比較的楽な仕事をさせてもらいました。本当の仕事は大変だと思いますが日常で役に立つことがいろいろ分かりました。ありがとうございました。

繰り返す増水にもくじけず！

底喰川高水敷でのミソハギの育成が始まって約20年、今年ほど何度も増水に沈み、流れてきたゴミに押しつぶされたことはありませんでした。しかし、ボランティアの皆様の努力（ミソハギを押しつぶしているゴミの取り除きと除草）とミソハギの生命力により、例年の鮮やかさには劣りますが下の写真のように咲きました。（9月8日撮影）



